平成30年度第１回豊中市地域包括支援センター運営協議会議事録

平成30年(2018年)5月31日（木）
午後2時00分～午後4時00分
市役所第二庁舎　4階　北会議室

□出席状況（豊中市地域包括支援センター運営協議会委員総数７名中７名出席）

豊中市地域包括支援センター運営協議会
◎秦康宏委員　田中委員　前防委員　井出委員　神保委員　羽渕委員　浅沼委員

（◎＝会長　委員名簿順）

□傍聴者０名

□議題

１．地域包括支援センターの運営状況ついて（平成29年度包括事業報告・決算報告）
２．平成30年度地域包括支援センター年間事業計画等について
３．平成30年度外部評価について
４．認知症初期集中支援チームの実績報告及び平成30年度事業計画について
５．その他

□議事内容

議題１　■地域包括支援センターの運営状況ついて（平成 29 年度包括事業報告・決算報告）

事務局　資料説明
＜資料１、２－１、２－２＞

会長　＜質疑・意見交換＞
資料２-１の２ページ、相談内容件数の「その他」が多くなっているが、どんな内容が含まれるのか。

事務局　複数回答であり、各項目に付随するもので、振り分けができないものが含まれている。

会長　選択肢に「その他」という項目があり、その内容までは把握できていない。

事務局　同じく５ページの「その他」についても同様か。

会長　確認している限りでは、認知症サポーター養成講座や出前講座などが占めている。
資料２-１の６ページ、前年度と比較すると表の左の数値が違うので、比較しにくい。統一してはどうか。

事務局

会長　次回、修正を行う。

事務局　資料１の柴原の人件費が突出しているのは、理由があるのか

資料４にある職員配置計画書を参考に、１号被保険者の数によって各包括の基本定数が決まり、柴原は一番多い。詳しい分析までには至っていないが、職員の入れ替わりが少ないことが推測される。

議題２　■平成 30 年度地域包括支援センター年間事業計画等について

事務局　資料説明

＜資料３、４＞

会長　＜質疑・意見交換＞

委員　本センターと分室の人数配分、比率の決まりはあるのか。

事務局　規定はないが、それぞれに３職種は配置するよう伝えている。圏域全体として定数を満たしていれば、職員のスキルとか色々な面も含め、法人内で配置を考えている。

会長　庄内の本センターの人数が少ないのはなぜか。

事務局　分室の来所が多く、分室を手厚くしていると聞いている。

会長　介護予防支援事業所職員は常勤としてカウントしているのか。非常勤職員もあっての頭数か。

事務局　介護予防支援事業所職員は、非常勤職員もあっての頭数としてカウントしている。

議題３　■平成 30 年度外部評価について

事務局　資料説明

＜資料５＞

会長　＜質疑・意見交換＞

７期計画にもある地域支援機能の強化において、ネットワーク構築とコーディネート力の向上、市と地域包括支援センター連携強化、地域包括支援センター普及啓発と情報提供など、これらとの整合性を踏まえた上での各包括の事業計画となっているのか。

全体として見えてこないが、例えば庄内包括であれば「庄内ケアマネット」のように

事務局　包括が一歩引いて相談役をするなどが、コーディネート力の向上となるのか。

７期計画の取組みを踏まえながら、包括事業計画の作成を依頼している。一定程度

委員　の質の確保や計画の進捗状況は外部評価で確認し、PDCA サイクルをまわしていく。

資料２の相談内容について虐待の相談件数が減っているが、発生してないわけではないはず。虐待防止の意識を高める窓口として、包括があることを市民さんに周知で

委員　きれば、もっと身近な相談窓口となるのでは。いくつのかの包括では、まだ認知度が低い。

委員　広報など見る人は見るが、見ない人への周知が難しい。高齢部会や校区の福祉委員会などで周知してはどうか。

福祉委員、民生委員、包括、地域のケアマネも含めて会議を開くが、来る人は同じ

委員　メンバーであり、それ以外の方への周知が難しい。今は必要ないから興味がなく、いざという時は民生か福祉を頼ってくる。そこでやっと私たちの必要性が出てくる。

前回の外部評価が１年半前であったが、今回の計画をみたら新しい取組みを精力的
委員　に行っていて、数値的な目標もより具体的である。平成 29 年度に達成されたことを中心に評価していくが、精度が高くなってきているので、資料を読み込んで評価に向けて準備していきたい。

前年度の達成状況から今年度の目標の活動方針につながっている。発展している内
会長　容改善やサービスの質の向上など、一元化して確認できる。アピールポイントを詳細
事務局　に包括から説明してほしい。外部評価は、今回で３回目となるが内容は同じだが、ステップアップされていると思う。

PDCA サイクルがうまく回っている。外部評価の時間数は増えたのか。

分室の実態確認が増え、移動時間もあるので、時間的には増えている。

議題４　■認知症初期集中支援チームの実績報告及び平成 30 年度事業計画について

事務局　資料説明

＜資料６～１０＞

会長　＜質疑・意見交換＞

委員　資料７の６ページの緊急度ランクについて、Ａの３人はその後どうなったのか、入院したのか。Ｂの７２人もその後どうなったのか。継続中１７人の緊急度、モニタリングした人４８人の緊急度がわからない。緊急度別に終了理由やモニタリングのデータがみたい。特に医療機関に関するデータを、後日で構わないのでほしい。

事務局　手持ち資料では分からない。後日、確認しておく。

委員　資料７の３ページの「どこで知ったか？」について、かかりつけ医としては初期集中の紹介をしにくい、紹介するとなれば専門医などになってしまう。「その他」に含めても良いのだが。

会長　ここの「その他」の詳細も分析しづらい。

事務局　検討する。

委員　電話のみの対応が、資料７の１ページの１５０件となるのか。実際にチームとして動いたケース、モニタリングで実際に動いたケースは何件か。

事務局　電話で初めに相談を受けた件数が１５０件となる。相談を受け、緊急度を判断する。その結果、訪問に至ったケースが資料７の５ページの初回訪問の４６件となる。現状でかかえているケースは、支援継続中の１７件である。

委員　ドクターが訪問したのは１件か。

事務局　初期訪問が１件、継続で２件である。ドクターは訪問以外にも、カンファレンスなどチーム会議に４０回ほど参加し、電話対応なども行っている。他市では、ドクターが会議に参加することはほぼないことを考えると、当市でのドクターのかかわりは積極的である。

会長　資料７の１ページで、４０代５０代の相談が少ないとみるか多いとみるかわからない。

委員　　　若年性認知症の方をキャッチするのは難しい。
　　　　　　６０代前半から後半にかけての相談は多い、５０代は家族からの相談くらい。５０
　　　　　代やその周りの人はそこまで深く考えない。会社勤めの人は、なかなかつながりにく
会長　　　い構造なのでは。
　　　　　　かかわった後、将来的に認知症になっていくわけだが、個人情報の問題もあるが、
　　　　　その情報が包括や民生、ケアマネなどにどう引き継がれていくのか。
事務局
　　　　　　包括職員のスキルアップ研修において、チーム員を講師としてチーム活動の状況を
　　　　　伝えることで連携を図った。また、今後は実際にかかわった人のモニタリングなどの
委員　　　情報提供を包括に行うなどにより、連携していく必要がある。
　　　　　　資料８のチーム員の配置状況だが、作業療法士が新たに追加ということで、訪問な
事務局　　ど一緒に行うのか。
　　　　　　チームの配置について、平成29年度は専門医８人のうちサポート医が３人だった
　　　　　が、平成30年度は専門医７人のうちサポート医２人となり、新たに作業療法士２人追
　　　　　加となった。初期段階は、今まで通り看護師と社会福祉士が中心となる。ケースによ
　　　　　って工程分析が必要な場合、作業療法士も訪問に一緒にいくというようなスポット的
委員　　　な役割を担う。
　　　　　　市内で１か所となると、なかなか物理的にすすまないのでは。委託料増やして、人
会長　　　員を増やせたらと思う。それで、救われる人も増えるのでは。
事務局　　　豊中市の認知症の人全員かかわるわけではない。緊急度で選別する機能もあるか
　　　　　と。
会長　　　　課題としては包括との役割分担、相談経路の見直しを行い、本当に社会資源として
事務局　　チームが不足しているかどうか、相談のやり方などの結果を見ながら考慮していきた
　　　　　い。
　　　　　　圏域的にばらついているのは、市としてうまくいっているという評価では。
　　　　　　包括との連携で具体的に活動内容を周知することで、チームにつなぐという効果が
　　　　　できているかと思う。また、資料７の５ページの初回訪問の件数が平均１８日となっ
　　　　　ているが、至急対応が必要なケースはもう少し早い期間で訪問しているが、訪問まで
　　　　　に拒否のある方、色々な機関との情報共有が必要な方などもいるので、時間がかか
　　　　　る。その人たちを除けば、平均的にもう少し短くなる。

議題５　　■その他について
事務局　　資料説明
　　　　　＜資料＞
事務局　　　・H30 年度介護予防活動普及展開事業　モデル市・広域連合ロードマップ
　　　　　　・「地域包括支援センターの設置運営について」の一部改正について

　次回の日程については決まり次第、連絡します。

　また、６月末で委員の任期満了となり、７月１０日開催の豊中市介護保険事業運営委員会において、運営協議会の委員が指名される予定です。

会長　以上で、豊中市地域包括支援センター運営協議会を終了します。